

2010. August 8月号

発行日：平成22年8月1日

発行：東京税理士会
情報システム委員会

題字：金井塚 清（豊島）

事務所業務効率化に役立つ社内情報の共有方法

ポータルサイトの事例「Working Portal」の紹介

【業務効率化のためのポータルサイトの利用】

事業効率化（特に社内（事務所内）情報の共有化）を図るため、グループウェアやポータルサイトを利用することは大変有効です。

グループウェアやポータルサイトには、「サイボウズ」を始め様々なものがあり、従来は自社でサーバを設置して使用することが一般的でしたが、近年は自社でサーバを設置せず、メンテナンス等のコストを低くして使用するものも増えてきています。

今回は、後者の形態で、最近サービスを開始した富士ゼロックス（株）のポータルサイト「Working Portal」を紹介します。

「Working Portal」は、情報セキュリティ対策製品である「beat/basic サービス」および「beat/entry サービス」の機能拡張サービスとして提供されています※1。情報セキュリティ対策製品の拡張サービスとして提供されるため、ポータルサイト利用に際して考慮が必要なセキュリティについても安心して使用ができることが大きな特徴となっています。

顧客企業のIT化が進む一方、税理士事務所内で情報を共有したり、業務をある程度共通化したりできる、仕事の環境も調えたいものです。「ポータルサイト」と銘打っているこの「Working Portal」は、まさに仕事の環境を集めた「入り口」というイメージです。つまり、税理士事務所用の「ポータルサイト」という環境を作り、必要な業務機能を集めておけば、事務所職員全員が、各自のパソコンから、その「ポータルサイト」を開けばやりたい仕事環境となるので、利用者にとっては非常に便利です。

しかし、税理士事務所内で「ポータルサイト」を、システム管理者の方が作り上げるのは、なかなか大変というのが現状ではないでしょうか。そこで、「Working Portal」を例にとってグループウェアやポータルサイトでできることを下記にシーン別に紹介したいと思います。

【Working Portalの利用シーン】

ここではまず、税理士事務所の中でよくありそうな「おこまりごと」の場面をいくつかあげて、「Working Portal」がどのように役に立つのか、見てみましょう。架空の税理士事務所として、所長先生が税理士会の役員で多忙（事務所にあまりいらっしやらない）、職員が3～4名を想定し、よくあるシーンを以下に挙げてみました。

シーン①

所長先生は、支部や東京会の役員で会務が多く、日中はほとんど外出しています。事務所職員にとって、所長先生の外出先はホワイトボードを見ればわかりますが、会議中には携帯電話もつながらず、急な顧客からの問い合わせにいつ頃連絡できるか回答することが困難でした。所長先生は税理士手帳などでスケジュールを自己管理していました。

シーン②

事務所職員の顧客ごとの会計処理作業は、担当職員から日報を提出させて、所長先生が確認していましたが、顧客から「来月資金繰りのために借入をしたいのですが、試算表を出してくれませんか？」といった問合せが入った時に、所長先生が早く状況を確認することができず、すぐ回答できませんでした。

シーン③

事務所職員の処理済の顧客データは、ファイルサーバーの特定の場所に保存していましたが、所長先生が外出先で確認することができませんでした。

シーン④

事務所の夏季休暇、正月休み、職員毎の休暇の状況が全体として把握できず、全員に知らせたい情報伝達が、徹底できてないと思っていました。

シーン⑤

所長先生は、事務所のIT化を促進したいと考えていましたが、同じような検討をして成功している他の会計事務所の事例を紹介してもらったり、（まだ具体的な検討に入る前に）ちょっと相談に乗ってもらえそうな先がほしいと考えていました。

【Working Portalの機能】

今まで描いてきました各シーンを、「Working Portal」の機能を使ってスマートに対応してみましょう。



シーン①に対応するのが、「スケジュール共有」です。

「スケジュール共有」に所長先生の予定を入れてもらうことで、スケジュール帳を共有することにより、スケジュールの確認や日程調整が簡単に行えます。社内用ポータルサイト「Working Portal」では、インターネット上からアクセスもできますので、出先、帰宅した自宅でのパソコンからも予定を確認でき、外出・出張中でもスケジュールを入れたり、日程調整ができます。

シーン②には、「タスク管理」を活用します。

この機能は、顧客単位での進捗管理ができます。「指示された仕事」「指示した仕事」がリスト表示され、指示された仕事の進捗を、コメントや添付ファイルを使って報告することができます。これによって、所長先生は、顧客からの急な問合せに対して、タスク管理の情報を見て、回答していけます。

シーン③の場合、ファイル共有できるエリアとして「ファイル管理」を利用します。

Webブラウザで簡単にファイルを保存し事務所内で共有することができます。ファイルサーバーのような難しい設定は必要ありません。ユーザー権限ごとのアクセス権の設定やバージョン管理もできますので、やりとりしている資料を、常に最新版を共有する運用ができます。

シーン④に対しては、「お知らせ」を利用しましょう。

事務所用ポータルサイト「Working Portal」のトップ画面に「お知らせ」が設定されていますので、ここに事務所の皆への伝達事項を記載しておけば、皆の目にとまることでしょう。事務所内での貼りだしと比べて、事務所にあまり居ない所長先生でも、「Working Portal」から、事務所内伝達情報が確認できます。

シーン⑤の場合、「仕事のみかた」というエリアで対応します。

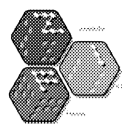
「ビジネスのヒントに！情報サイト」では「オフィスでの主な課題」解決メニューや事例を掲載していますので、探している解決事例が見つかるかもしれませんし、「ご相談・情報交換はこちらに」では、ユーザーと富士ゼロックスとの情報交換の場になっていますので、ここにご相談を書き込んでいただくと、富士ゼロックスが対応します（回答が投稿されます）。

以上が主な機能になりますが、これらを活用していくことで、結果的に事務所内でのIT促進が図られるとともに、業務効率化、事務所職員の意識向上などへの効果ももたらされると思います。「Working Portal」から、まず事務所内の人と人のつながりを深めていけるとよいですね。

【Working Portalの提供方法】

※1 現在、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、茨城県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県のお客様300社を対象に提供されています。
※ 尚、富士ゼロックスでは継続して「Working Portal」をネットワークアウトソーシングサービス「beat/basic サービス」および「beat/entry サービス」の機能拡張として提供され、今後富士ゼロックスが提供していくサービスと連携が図られる予定となっています。

**出場者
選考中!**



税理士情報フォーラム 2010

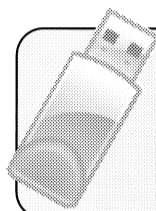
「税理士事務所IT化コンテスト」

コンテスト出場作品の募集が締め切られ、現在情報システム委員会では、当日プレゼンテーションを行う作品を鋭意選考中です。多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

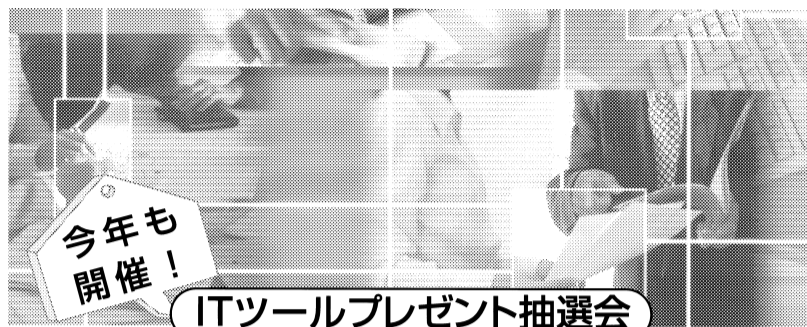
当日はご来場のみなさんの投票で、最優秀作品が決定いたします。コンテスト参加者に直接質問できるコーナーも用意いたしますので、積極的に業務の改善に取り組み、効率的な事務所を運営する会員のプレゼンテーションにぜひご期待ください。

来場者特典

10月6日当日、来場者先着100名に
USBメモリー(4GB)をプレゼント



日時:10月6日(水)午前10時～午後5時
場所:東京税理士会館



ITツールプレゼント抽選会

全てのブースを見学いただき、IT化コンテストで投票いただいた方を対象に抽選会を行います。
・スキャナー、・DocuWorks等、
魅力ある賞品をご用意いたします。



フォーラムではコンテストの他、ペーパーレス事務所経営のためのソフトウェア「DocuWorks」(富士ゼロックス)の利用に関するセミナー、ますます充実の税法データベース「TAINS」の活用に関するセミナーも開催いたします。内容詳細は次号「情報通」をご覧ください。

昨年パソコンの新しいオペレーティングシステム(以下「OS」)としてWindows7(以下「Win7」)が発売されました。それと相前後してパソコンの中核部である中央演算処理装置(以下「CPU」)が新しくなり、データをやり取りするUSBやHDMIなど、パソコン周辺機器も新しい仕様が出てきました。

●最近のCPU

テレビのコマーシャルで、「インテル入ってる」というのを見聞きしたことがあるでしょう。このインテルから発売されているCPUに「コア2デュオ」、「コア2クアッド」があります。これが今年からは、「コアi7」、「コアi5」、「コアi3」の三種類が主流になります。ノートパソコンにもこれらのCPUが搭載され、性能がアップし、駆動時間も長くなることでしょう。ノートパソコンの機種選択と購入時期が悩ましいところです。

一方AMDからは6コアのCPUが発表され、近年にない新CPUラッシュになっています。費用対効果は利用するアプリケーションによって変わってくるので、新たにパソコンを購入する場合、このCPUに注目して選択して下さい。金額が安いからといって飛びつくのではなく、利用形態を勘案して総合的に判断して下さい。不安な場合には、周囲の精通者に相談してみることをお勧めします。

●最新のポート

パソコンを利用している人はUSBを普通に使っていることでしょう。税理士情報フォーラム2009では、microSDカードを配布し、データ交換に利用している人もいることでしょう。現在のUSBポートは2.0という仕様ですが、昨年USB3.0の製品が発売されまし

ITコラム

★CPUとポート★

情報システム委員会 委員

矢崎 義光

た。転送速度が理論値では十倍程度になっています。

このUSB3.0のポートを搭載したパソコンが販売されるようになってきました。USB3.0同士のパソコンでなければ本来の転送速度にならないので、データを交換する場合などでは注意が必要です。古いパソコンにはUSB1.1というものもあり、見た目はほとんど同じなので、利用の形態に応じて注意して使用して下さい。

最近のパソコンには、HDMI端子を備えているものが増えています。地デジの普及とともに、

パソコンとデジタルテレビを繋ぐ一つがHDMIケーブルです。これならば映像データと音声データを一本で接続でき、簡単に高精度の画面を表示できます。

HDMI端子には出力と入力の種類があり、組み合わせを注意する必要があります。デジタルカメラからデジタルテレビは表示できるでしょうが、デジタルカメラからノートパソコンは表示できないこともあります。HDMIケーブルは著作権保護機能に対応しているので、デジタル放送等をみるには、HDMI端子付きのディスプレイを利用して下さい。

HDMIは昨年1.4という規格の概要が公開され、ネットワークや3D映像への対応など、情報転送に新たな時代が見えてきました。

●終りに

UAB3.0やHDMIはパソコン操作で直接的な影響は少ないでしょうが、データ交換や周辺機器を利用する場合、思った以上に大きな影響を与えます。各種ツールを有効利用することで、業務効率を向上できることでしょう。

ミニセミナー

「魔法陣による電子申告実務研修」

とき 8月24日(火) 13:00～14:00

ところ 東京税理士会館 地下101号室
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-6

定員 先着10名

講師 東京税理士会情報システム委員会委員

対象 本会会員、事務所職員 ※無料

**同時
開催**

個別相談会

13:30～14:20 (東京税理士会館 4階)

どちらも事前申込制です。メール、お電話でお申し込みください。

e-mail johosystem@tokyozeirishikai.or.jp

※タイトルを「個別相談希望」または「ミニセミナー申込」としてください。

(記載事項 ①支部、②氏名、③相談希望の場合は相談内容)

TEL 03-3356-4467 (東京税理士会事務局業務研修課)